

高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 地理歴史 科目 地理総合

教科: 地理歴史 科目: 地理総合 単位数: 2 単位

対象学年組: 第2学年 A組～ H組

教科担当者: (A組: 塚本) (B組: 磯崎) (C組: 塚本) (D組: 塚本) (E組: 塚本) (F組: 塚本) (G組: 磯崎) (H組: 塚本)

使用教科書: (地理総合(東京書籍)、新詳高等地図(帝国書院))

教科 地理歴史 の目標:  
 【知識及び技能】 地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。  
 【思考力、判断力、表現力等】 学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見をふまえて表現する力を養う。  
 【学びに向かう力、人間性等】 学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題に主体的に取り組む態度を養う。

科目 地理総合	の目標:
【知識及び技能】	地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見をふまえて表現する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題に主体的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	単元 地球上の位置と時差 【知識及び技能】 緯度・経度、時差のしくみについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 緯度の違いや時差が私たちの生活に与える影響について考え、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 地球上の位置の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。また、時差は私たちの生活とどのように結び付いているのだろうか。 ・指導事項 緯度・経度、時差とその計算 ・一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。 【思考・判断・表現】 緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○		3
	単元 地図の種類と役割 【知識及び技能】 地図や地理情報システムの種類や役割について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 地理情報の表現及び読み取りを通して、その特徴について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 地図や地理情報システムにはどのような役割や種類があるのだろうか。また、私たちの生活にどのように役立っているのだろうか。 ・指導事項 図法、地形図、GIS ・一人1台端末の活用 GISの活用・地図の作成	【知識・技能】 地図や地理情報システムの種類や役割、主な活用場面について理解している。 【思考・判断・表現】 様々な地図から地理情報を読み取り、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理情報システム(GIS)のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	単元 現代世界の国家と領域 【知識・技能】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について理解する。 【思考・判断・表現】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について、多面的・多角的に考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 国家の領域や国境はどのように定まっているのだろうか。また、日本の位置や領域にはどのような特徴があるのだろうか。 ・指導事項 領土、主権、日本の領土、領土問題 ・一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について理解している。 【思考・判断・表現】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国境の種類、国家の領域、国家の主権、日本の領土問題について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	2
	単元 世界の地形と人々 【知識及び技能】 様々な地形の種類とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な地形と人々の生活とのかかわりについて考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 人々はこうした地形とどのように関わり合っているのだろうか。世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・指導事項 大地形・小地形 ・一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 様々な地形の種類とその特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 様々な地形の種類とその特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 様々な地形の種類とその特徴について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
2 学期	単元 世界の気候と人々 【知識及び技能】 各地の気候とその特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 各地の気候と人々の生活とのかかわりについて考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 人々の生活はそれぞれの気候要素とどのように関わり合っているのだろうか。世界各地ではどのような生活が営まれているのだろうか。 ・指導事項 気温、降水、風、植生、気候区分 ・一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 各地の気候とその特徴について理解できる。 【思考・判断・表現】 各地の気候とその特徴について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地の気候とその特徴について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	7
	単元 世界の言語・宗教 【知識及び技能】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について理解する。 【思考・判断・表現】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 学習課題に積極的に取り組む。	・問い 言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。 ・指導事項 言語、宗教 ・一人1台端末の活用 GISの活用	【知識・技能】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言語と民族の関わり、宗教と人々の生活への影響について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1

2 学 期	<p>単元 地球的課題と国際協力</p> <p>【知識・技能】 SDGsや地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、考察・表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に積極的に取り組む。</p>	<p>・ 問い 地球的課題の背景には何があるのだろうか。また、課題の解決に向けて、私たちには何ができるのだろうか。</p> <p>・ 指導事項 SDGs、エネルギー資源、人口問題、食糧問題、貧困問題、都市・居住問題</p> <p>・ 一人1台端末の活用 GISの活用</p>	<p>【知識・技能】 SDGsや地球的課題の諸問題について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 SDGsや地球的課題の諸問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 SDGsや地球的課題の諸問題について、課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>単元 自然環境と防災 生活圏の調査と地域の展望</p> <p>【知識・技能】 我が国をはじめ世界で見られる自然災害や生徒の生活圏で見られる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習課題に積極的に取り組む。</p>	<p>・ 問い 日本や世界の地形や気候には、どのような特徴があるのだろうか。また、それらと自然災害にはどのような関係があり、どのような被害をもたらすのだろうか。自然災害の発生に備えてどのような取組が必要なのだろうか。</p> <p>・ 指導事項 SDGs、エネルギー資源、人口問題、食糧問題、貧困問題、都市・居住問題</p> <p>・ 一人1台端末の活用 GISの活用</p>	<p>【知識・技能】 各地で見られる自然災害とそれに対する備えや対応について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 各地で見られる自然災害とそれに対する備えや対応について、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	○	○	○	15
	定期考査			○	○		1